
九州運輸局メールマガジン 平成 29 年 9 月 28 日 第 367 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。

次回の定期発行日は平成 29 年 10 月 12 日（木）です。

◆ 目次

1 現場レポート

- ・小型船舶に対する安全キャンペーンの活動について～安全確保に向けてパトロール・啓発活動を実施～
- ・第 49 回九州船員災害防止大会が開催されました～船員の災害防止に向け、福岡市に九州全体の関係者が一堂に会して～
- ・平成 28 年度国土交通白書説明会を開催しました
- ・心のバリアを取り除こう！～2 校の小学生が障がい者の移動を体験～

2 お知らせ

- ・10 月は「九州レイルマンス」です！～楽しい鉄道のイベントが盛りだくさん～
- ・フェリー・RORO 船の航路情報サイトを開設!!～海運へのモーダルシフトを推進するため～

3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

1 現場レポート

◆小型船舶に対する安全キャンペーンの活動について ～安全確保に向けてパトロール・啓発活動を実施～

◎九州運輸局では、8 月 19 日（土）、9 月 3 日（日）に遠賀川流域及び筑後川流域において、海上保安部、警察、河川等を管理する九州地方整備局及び自治体並びにパーソナルウオータークラフト安全協会等と連携し、河川を重点としたパトロール活動と啓発活動を実施しました。

◇概要

- ・全国で発生した海難事故の 7 割はプレジャーボート及び漁船であり、そのほとんどが小型船舶となっています。
- ・このため、九州運輸局では、小型船舶の事故削減に向け平成 29 年 4 月 24 日～同年 9 月 29 日の間を「小型船舶の安全キャンペーン」期間として、海上保安部、管内の県警本部、日本小型船舶検査機構、地方公共団体及び九州地方整備局等と連携して、マリーナ・漁港等へのパトロール指導、リーフレットの配布等より小型船舶の安全対策の取組を行っています。
- ・加えて、不法係留の小型船舶をマリーナや漁港に誘導し、船舶の整備を徹底させ安全運航の啓蒙を通じ事故防止を図るため、河川を重点としたパトロールと啓発活動を実施しています。

◇内容

- ・8月19日（土）の中間市遠賀川流域でのパトロールでは、当局主導のもと、当局及び連携する関係機関の担当職員総勢7名が参加し、流域内で水上レジャーや遊漁を楽しんでいた水上バイク及びプレジャーボートに対し実施。
- ・9月3日（日）の久留米市筑後川流域でのパトロールでは、九州地方整備局筑後川河川事務所主導のもと、当局職員他総勢15名で、モーターボートの練習を行っていた筑後川モーターボートクラブの者約20名に対し実施。
- ・パトロール活動は、操縦免許の確認と小型船舶検査証書を確認。
- ・啓発活動は、ライフジャケットの着用など小型船舶の運航時に遵守すべき事項等を記載したリーフレットを配付して説明。
- ・2日間のパトロール活動では、いずれも操縦免許等法令に規定する事項の違反はなく、ライフジャケットも適正に着用しており指摘及び改善を指導する事項等なかった。

◇九州運輸局からのメッセージ

九州運輸局では、今後も小型船舶の海難事故減少を目指して、九州地方整備局、海上保安庁、管内の県警察本部及び河川等を管理する自治体等関係機関と連携しながら、パトロールと啓発活動に積極的に取り組むこととしています。

（海上安全環境部）

◇パトロール活動等の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_367_1.pdf

◆第49回九州船員災害防止大会が開催されました

～船員の災害防止に向け、福岡市に九州全体の関係者が一堂に会して～

◎船員災害防止大会は、毎年9月に実施している船員労働安全衛生月間の主行事として、船員及び船舶所有者に対する安全衛生意識の高揚を図るとともに海上産業の発展に寄与することを目的に、船員災害防止協会の主催により全国各地で開催されており、九州では9月12日（火）に、福岡市内のホテルセントラーザ博多にて開催されました。（後援：九州運輸局）

◇内容

- ・大会では、「元気に乗船、笑顔で下船、皆で取り組むゼロ災害」のスローガンを掲げ、九州各地から関係者145名の参加により盛大に開催されました。
- ・殉職された海事関係者のご冥福をお祈りしての1分間の黙祷で始まり、主催者、来賓のご挨拶、船員災害防止協会による船員災害防止功績者の表彰、九州運輸局による船員安全・労働環境取組特別賞及び船員労働災害防止優良事業者認定証の伝達式、保護具メーカー各社のプレゼンテーションが行われました。
- ・その後、国土交通省海事局が今年度より新たに設けた「船員安全・労働環境取組特別賞」の初の受賞者として全国でも九州のアジアパシフィックマリン(株)（福岡県北九州市）の「女性の就労支援」と(株)Aシップ（熊本県天草市）の「ライブカメラを活用した船内作業管理支援取組」の2社が選定されたことから、当日は、(株)Aシップより受賞となった取組の紹介がありました。
- ・また、SOMPO リスクアマネジメント(株)の木之下みやま講師による「メンタルヘルセルフケア講座」と題した記念講演が行われ、参加者からは「大変参考になった。出来るところから取り組んでいきたい。」との意見もありました。

・最後に、大会宣言を全員の盛大な拍手で採択し、大会を締めくくりました。

◇九州運輸局からのメッセージ

船員災害は人的資源の損失にとどまらず、若年者に船員という職業を敬遠させる要因にもなるものです。船員労働安全衛生月間中、九州運輸局では各地区の海運事業者、関係団体等と連携をとり、本船員災害防止大会の他、各地での安全衛生講習会、船員無料健康相談所の開設、訪船指導等多様な活動を展開中です。

今後も船舶所有者及び船員等関係者に安全衛生に対する意識の高揚及び船員災害防止対策について一層の推進を図り、継続した取組みを進めてまいります。

(海上安全環境部 船員労働環境課)

◇船員災害防止大会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーをご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_367_2.pdf

◆平成 28 年度国土交通白書説明会を開催しました

◎九州運輸局は九州地方整備局と共催で、9 月 12 日（火）福岡合同庁舎新館 7 階において、平成 28 年度国土交通白書説明会を開催しました。

(交通政策部 消費者行政・情報課)

平成 28 年度国土交通白書は、国土交通省のホームページからご覧下さい。

<http://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h28/index.html>

◇説明会の内容等詳細は、こちらからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_367_3.pdf

◆心のバリアを取り除こう！

～2 校の小学生が障がい者の移動を体験～

◎九州運輸局では、9 月 19 日（火）福岡市立福重小学校（福岡市西区福重）において、4 年生 72 名を対象に（福）福岡市身体障害者福祉協会、西日本鉄道（株）、福岡市の協力のもと、続いて 9 月 21 日（木）熊本市立砂取小学校（熊本市中央区）において、4 年生 98 名を対象に（福）熊本市社会福祉協議会、九州産交バス（株）の協力のもと、「バリアフリー教室」を開催しました。

◇概要

九州運輸局では、誰もが高齢者・障害者等に対し「お手伝いしましょうか」とごく自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指しています。その一環として、市民の方々に高齢者・障害者等の疑似・介助体験を通じてバリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識の向上を図るため、各地で「バリアフリー教室」を開催しています。

◇内容

- ・両校とも、校内の体育館とグラウンドを使用して実施。
- ・体育館では、段差や壁など障害物のある通路を目隠しで移動する視覚障害者の疑似体験と視覚障害者を想定した介助を体験、並びに車いすの乗車体験と車いす使用

者の介助を体験。

・グラウンドでは、バス会社から用意いただいたノンステップバスを用いて、バスのしくみや車いすでのバスの乗り方などについての説明を受けて乗降車を体験。

九州運輸局からのメッセージ

・両校とも、各体験に児童らは元気いっぱい目を輝かせて取り組んでいました。
・参加した児童からは、「階段から人が落ちそうでこわかった。今度、困っている人を見かけたら声をかけたい」、「目や体の不自由な人が助けを求めているときに、「お手伝いしましょうか」と声をかけてお手伝いしたい」などの感想がありました。
・今年度、同バリアフリー教室を10月以降10校に対して開催を予定ししており、今後もこのような取り組みを通じて、「心のバリアフリー」の推進に努めてまいります。

(交通政策部 消費者行政・情報課)

◇砂取小学校でのバリアフリー教室の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーをご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_367_4.pdf

2 お知らせ

◆10月は「九州レイルマンス」です！

～楽しい鉄道のイベントが盛りだくさん～

10月14日の「鉄道の日」を記念し、10月を「九州レイルマンス」として、“安全・安心で、楽しく、ちきゅうにやさしい”九州の鉄道の魅力を広くアピールします。

「鉄道の日」九州実行委員会（九州運輸局と九州管内の鉄軌道会社18社で構成）

と、鉄軌道各社では、期間中各地で楽しいイベントを開催します。

ご家族で楽しい鉄道のイベントに出かけてみませんか。

◇イベントスケジュール等詳細は、こちらからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_367_5.pdf

※10月7日（土）に開催するレイルフェスタ九州2017の「トレジャーハンティング in 南阿蘇」はまだ空きがあります。ご家族や友人同士などでの参加をお待ちしております。

◆フェリー・RORO船の航路情報サイトを開設!!

～海運へのモーダルシフトを推進するため～

海運へのモーダルシフトを推進するため、九州発着の定期航路（中・長距離フェリー、定期RORO船）の運航ダイヤや船舶要目等の航路情報一覧を掲載したサイトを9月29日から九州運輸局ホームページに開設します。

こちらのURLからご覧ください。※9月29日から閲覧することができます。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu//topics/ferry-roro-29.9.pdf>

フェリー等の利用情報の一括検索システムの構築に関する資料

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_367_6.pdf

3 九州運輸局ホームページアップ情報

―― 報道発表

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ ---

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 ---

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部だより //////////////////////////////////////

「暑さ寒さも彼岸まで・・・」といいますが、お彼岸も過ぎ朝晩はめっきり涼しくなり、日中も日陰に入れば心地よい風が感じられる季節になりました。地球温暖化で気候変化が進みつつある中で未来でもこの言葉が当たり前の言葉であってほしいものです。

お彼岸は、昼と夜の時間がほぼ同じで太陽が真東から真西に沈む「秋分の日」（今年9月23日）の前後の3日間をいいます。春分の日が「自然をたたえ、生物をいつくしむ」のに対し、秋分の日が「祖先をうやまい、なくなった人をしのぶ」という意味から、秋の彼岸はお墓参りをする日本特有の仏教行事になっています。と、そういうことを書いている人が...、ご先祖様ごめんなさい。それから、彼岸花はその名のおり名前の由来はお彼岸のころに咲くからで、「曼殊沙華（まんじゅしゃげ）」ともいいますが、梵語（古代インドの標準的な文章語）をそのまま写したもので、直訳すれば「赤い花」の意味だとか。イメージは赤ですが白、黄、オレンジ、ピンクなどもあるので、この時期探してみたいはいかがですか。

◎季節の写真

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_367_7.pdf

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

Mail: gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
